



2022年8月31日

各位

会社名 株式会社ワンキャリア
代表者名 代表取締役社長 宮下 尚之
(コード番号：4377 東証グロース)
問合せ先 執行役員 CFO 木村 智明
(TEL. 03-6416-4088)

決算に関するよくある質問と回答

日頃より、当社に関心をお寄せいただきありがとうございます。2022年8月10日の2022年12月期第2四半期決算発表後に投資家様よりいただいた主なご質問とその回答について、下記の通り開示いたします。

なお、本開示は投資家様への情報発信の強化とフェアディスクロージャーを目的に、沈黙期間を除いた月末を目安に四半期に1～2回程度開示するものです。回答内容については、時点のずれによって多少の齟齬が生じる可能性があります。直近の回答内容を最新の当社方針として回答を記載しております。

Q1. 法人取引累計社数を前年同期比+60.6%と大きく伸ばすことができた理由は何か？

理由は大きく2つあります。

1つ目は、社内の営業体制の強化が実現できたことです。営業に従事する社員を順調に増員し、その社員が着実に立ち上がって営業活動に従事できています。

2つ目は、採用人数が中規模・小規模のお客様に対してスカウトサービスをご案内できるようになったことです。従来では採用人数が中規模・小規模のお客様は、求人掲載やオンライン企業説明会は初期費用や価格がハードルとなり導入が進みづらい状況でした。初期費用が安く、導入しやすいスカウトサービスの提供を2022年2月から開始したことで、当社サービスをご利用いただきやすくなりました。

Q2. 広告宣伝費の投資を第2四半期から下期に変更する理由は何か？

2022年12月期から法人顧客獲得のための広告宣伝費の投資を開始し、第1四半期から複数の広告媒体の利用を行いました。その結果、獲得効率の良い広告媒体と悪い広告媒体に分かれたため、後者に対する広告宣伝費の投資を途中で中止いたしました。投資予定だった広告宣伝費を下期の投資へ変更したことにより、第2四半期時点での広告宣伝費への投資額は当初の想定よりも少なくなりました。

2023年12月期以降の事業成長を見据え、現段階で獲得効率の悪い広告媒体への投資を続けるよりも、下期に獲得効率の良い広告媒体へ集中的に投資を行うことが重要であると考え、第2四半期に投資予定だった広告宣伝費を下期以降に投資するように変更いたしました。

Q3. 2022年12月末時点で110～120名程度まで社員数を増やす想定をしていたが、採用は順調か？

2022年4月に新卒社員13名が入社し、2022年6月末時点で社員数は105名に到達し、採用は順調に進捗しております。下期に入ってから上期までの採用ペースは落ちず、当初の想定通り2022年12月末時点で110～120名程度の社員数に到達する想定です。

また、2023年12月期以降を見据えて、前倒しで採用が可能になる場合は、2022年下期中に積極的な採用を進める予定です。

Q 4. 直近コロナの再拡大やインフレ・円安の進行が起こっているが、業績に何か影響はあるか？

コロナの再拡大が当社の業績に与える影響は軽微です。当社はメディアやオンライン企業説明会を通じて求職者と企業に対してキャリアデータの提供を行っているため、コロナによって大規模オフラインイベントが中止になるといった影響はありません。2020年以降、社員はリモートワーク中心に働いており、コロナの再拡大による当社社員の働き方への影響も軽微です。

また、インフレ・円安に関して、ドル払いとなる一部費用に関しては円安の影響を受けてコスト増となります。ただし、全体のコストに占める割合は大きくないため、全体の業績に与える影響は軽微です。

Q 5. 現時点で下期の業績に何かリスクはあるか？

大きなリスクはなく、第2四半期時点で業績は順調に進捗しており、下期の業績についても変わらず堅調に推移すると考えています。あえて挙げるとすれば、営業組織を中心とした採用の遅れがリスクとなりますが、現時点では採用は想定通り進捗しており、リスクが顕在化する見込みは低いと考えています。

以上